

かお・人・interview

2026年2月13日

所長

インタビュー



国土交通省 九州地方整備局
博多港湾・空港事務所長

玉石 宗生氏

TAMAIISHI Muneo

九州の玄関口を支える博多港と福岡空港。博多港湾・空港整備事務所は、地域の重要な物流・交通インフラを担い、着実な事業推進で博多港や三池港、福岡空港の機能強化を通じて経済活動と暮らしを支え続けてきた。令和7年は福岡空港の新滑走路が供用を開始。災害時への備えや環境への配慮といったさまざまな課題に向き合いながら、地元自治体や建設業界と連携して、安心・安全なまちづくりに挑む。玉石宗生所長に、現場を取り巻く現状や今後の課題、地域との協働に関する考えを伺った。

Q 所長就任にあたっての抱負

大学進学を機に福岡を離れてから約30年ぶりに、再びこの地で生活することとなりました。今後は、博多港・三池港、さらに福岡空港の整備を通じて、地域の発展に貢献したいと考えております。歴代の所長はいずれも優れた実績を残してこられた方々ばかりであり、責任の重さに身の引き締まる思いです。所長としての勤務は、酒田港湾事務所(山形県酒田市)以来、今回が二度目となりますが、空港整備を担当するのは初めてです。福岡空港の新滑走路は令和7年3月に供用が開始され、本格的な整備には携わることができなかったのは残念ですが、最後の仕上げについては、着実に進めていきます。

今後は、博多港をはじめとする港湾において、新たな事業に取り組む必要性を感じています。現在、地域の具体的なニーズについて調査を進めているところです。国と地方(港湾管理者)との役割分担から国が直接実施できる事業は限定されていますが、その中でも特に重視しているのは、RORO船についてです。近年、RORO船の需要が大きく高まり、船会社等からも「博多港の施設整備を望む」との要望を多数いただいています。こうした期待に応えるため、港湾機能の強化など新規プロジェクトを検討し、地域や関係者の意見を十分に反映しながら、今後の重点施策として推進してまいります。



▲ICガントリー博多港

Q 福岡県や福岡地区との関わり

私は大学進学まで福岡で過ごしました。地下鉄の開通など、街の発展を身近に感じる中で運輸省を志すようになりました。当時、私にとって「港」といえば、遠足で訪れた能古島への渡船場や、海の中道へ行くベイスайдプレイスが思い浮かびます。



▲福岡空港 R8.8.15撮影

国土交通省に入省後は九州・福岡勤務を希望していましたが、実際の配属は横浜、高松、名古屋、高知、酒田、仙台などが続きました。博多港湾・空港整備事務所で勤務された先輩方の話を伺うたびに、福岡勤務への憧れが募っていきました。今回ようやく希望が叶い、関係者の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

福岡と接点は少なかったものの、本省港湾局の産業港湾課でクルーズ振興担当の課長補佐の時(平成27年)には、博多港は、クルーズ船の寄港回数が日本一であり、当時日本に寄港したクルーズ船として最大となるクアンタム・オブ・ザ・シーズが日本で始めて寄港するなど、非常に注目していた港でした。また、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014」で掲げた「2020年に訪日クルーズ旅客100万人」という目標も、5年前倒して平成27年に達成でき、その100万人目の記念式典を博多港で開催する調整に関わることができました。

Q当事務所の紹介(事業内容、組織、特徴)

博多港湾・空港整備事務所は、博多港、三池港そして福岡空港の整備等を行っている総勢約50名の事務所で、福岡市中央区大手門にある本事務所のほか、三池港(大牟田市)の分室と福岡空港の出張所からなります。

九州・西日本を支える重要な役割を担っている博多港では、航行する船舶の安全を確保するため、航路・泊地の浚渫工事等を実施しています。また、県南を中心とした地域の物流を支える三池港では航路整備を行っています。

福岡空港については、逼迫した利用状況に対応するため、滑走路増設事業が平成27年度より着手され、令和7年3月20日に増設滑走路が供用開始されています。今後は、輸送拠点としての機能強化とともに、災害時の航空機の安定

的な運航を確保するための整備を実施しています。

Q事業概要(簡略)について

持続的な経済成長の実現を目指し、港湾の機能強化・航空ネットワークの充実に努めています。まず、博多港の香椎パークポート地区では、コンテナ船の荷役の安全確保のため、岸壁の改良に令和3年度より取り組んでいます。箱崎ふ頭地区についても、船の荷役の安全確保のため、岸壁の改良に令和3年度より取り組んでいます。

また、中央航路地区では海上交通ネットワークの安全性を確保するため、航路の改良に令和元年度より取り組んでいます。浚渫により発生した土砂は、地域の声を受け止めながら、過去に埋立のための土砂を採取した跡である博多港内の窪地の埋め戻しに有効活用しているほか、令和6年度から海草や海藻、貝類の生息場となる浅場造成の実証実験にも取り組んでいます。

福岡県南部地域の基幹産業を支える三池港では港湾施設利用の安全性を確保するとともに海上交通ネットワークを維持するための航路の改良に平成30年度より取り組んでいます。

福岡空港は、滑走路増設事業に伴う事業としては、利用したヤードの原状復旧や残土処理を行っており、供用に伴い不具合が生じる恐れのある誘導路の改良に令和6年度より取り組んでいます。また、近年の降雨に対応するため、排水施設の機能強化及び老朽化対策を行っています。

Q地域との連携・協働面について

博多湾の豊かな環境を守るための地域の活動には、業務としてだけでなく、事務所有志で個人としても参加しています。海岸清掃は、他の港湾・海岸でも行われていますが、博



▲アマモの移植セット

多湾では、魚等の生息場となるアマモを増やすための活動が特に活発です。福岡市や民間団体の主催する活動に参加し、漁業関係者や子供たちと一緒に、アマモの種子の選別、寒天で包んだアマモの種子の海への投げ込み、アマモの移植用のセット作成（アマモを麻紐で割り箸に巻き付けたものを作成。その後、ダイバーが海底の砂場に割り箸を挿入します。）などを行っています。



▲空の日イベント

また、港湾や空港のインフラの重要性を地元の皆様に少しでもご理解頂くために、土木の日や空の日のイベントなどに積極的に参加しています。

Q地域建設業界への要望・メッセージ

地域建設業は、地域の守り手です。東日本大震災や能登半島地震においては、海上からの被災地への支援物資の輸送が行われましたが、そのために必要な航路の啓開や岸壁の応急復旧は、地域建設業の皆様が現場で即応していただきました。まさに、行政にとっても被災者にとっても必要不可欠な存在でした。今後も、平時の港湾、空港整備に加えて、災害時においてもパートナーとして、災害復旧、応急復旧にも協力して取り組んで行きたいと考えています。

現在の少子化、高齢化が進み、若年者人口、労働者人口が減少している中、各業界で人手不足となっており、土木業界においても人材の確保が最大の課題の一つと考えています。このような中、土木系の学科で学んだ学生には、身につけた専門知識を活かすためにも、我々の業界へ就職していただきたいと考えています。そのためには、休日確保や賃金上昇などの働き方改革も重要ですが、それと共に、学生さんへ、業界の魅力や社会的要請、やりがいを伝えることが重要と考えています。是非とも、官民連携した我々の業界へのリクルート、広報などへは積極的に参加していただき、連携して業界全体の魅力の発信に取り組んで行きたいと考えています。

また、工事、業務は、無事故を目指すのが前提であり、安全第一で工事、業務を進めていただきたいと思います。対策としても、なにか特効薬があるわけではありませんの

で、各技能労働者の心がけ、安全への意識の持ちようが重要であり、K(危険/Kiken)Y(予知/Yochi)活動、安全パトロールなどの地道な努力の積み重ねしかないと思います。



▲空港の安全大会

監理(管理)技術者や現場代理人におかれては、工期等を守るために焦って工事を進めることなく、手順書どおりに確実に進めるよう、技能労働者、現場作業員にしっかり伝えるとともに、手順書が遵守されているかどうかなどの確認をお願いいたします。発注者としても、事故事例の共有や、発注者も参加した業界との共同の安全パトロールなどを行い、一緒になって事故ゼロを目指したいと考えています。

Q趣味について

趣味らしい趣味はありませんが、敢えて言えば野球観戦、特にプロ野球ではソフトバンクホークスを、前身のダイエーホークス時代から応援しています。なかなか勝てなかった時代を知っていることもあり、令和7年、私が福岡に戻ってきた年に、「♪輝く空に 感激の チャンピオンフラッグ ひるがえれ♪」の応援歌のように、チームが日本一に輝いたことには本当に感動しました。平和台球場まで足を運んでいた頃は、ホークスが勝つ姿を一度も観ることができませんでしたので、喜びもひとしおです。今シーズンは、ぜひ時間を作ってみずほPayPayドームに行き、チームの勝利を見届けたいと思っています。

プロフィール



福岡県出身 51歳
H13年4月 関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所 採用
H21年4月 内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)付 参事官補佐
H27年4月 港湾局 産業港湾課長補佐(クルーズ振興担当)

H29年7月 東北地方整備局 酒田港湾事務所長
R4年4月 大臣官房 公共事業調査室長
R6年7月 港湾局 海岸・防災課 危機管理室長
R7年7月 現職